

七ヶ宿中学校総合演劇

源流米 ～やまのしずく誕生の軌跡～

11月10日、活性化センターで七ヶ宿中学校総合演劇が開催されました。ふるさと七ヶ宿にまつわる昔話や社会的史実を基に創作される演劇は、今年で10回目を迎えました。

今年のテーマは、ふるさとのブランドである「源流米」。米の作り手である源流米ネットワークのメンバーや役場職員などへの取材を通し、やまのしずくが生まれるまでのストーリーを脚本化しました。

かつて七ヶ宿は米づくりの不適切地と言われ、米を取り巻く厳しい環境から米づくりに対し不安を抱く一方で、捨てきれない米づくりへの熱い思いをもつ人たち。信念を貫き源流米がブランド米となるまでのストーリーを全校生徒44名が演じました。



米作りへの葛藤を演じる生徒達



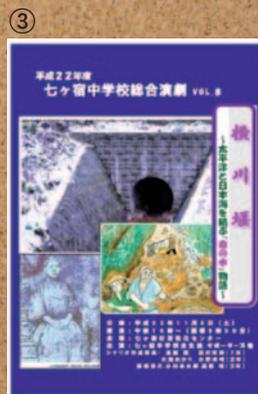
七ヶ宿中学校と源流米ネットワークのみなさん



実行委員長の岡源一郎君（中央）

七ヶ宿中学校のみなさんが演じたふるさと七ヶ宿

- ・平成15年度 第1回公演
「陽だまり～ダムに沈んだ思いで～」①
- ・平成16年度 第2回公演
「おすぎさん～とどいた願い～」
- ・平成17年度 第3回公演
「ふるさとの四季～家族物語」
- ・平成18年度 第4回公演
「ふるさとの学校～七中誕生物語～」②
- ・平成19年度 第5回公演
「一番星～福祉の心、それぞれの思い～」
- ・平成20年度 第6回公演
「振り袖地蔵～戊辰に咲いた小さな花～」
- ・平成21年度 第7回公演
「追憶の不忘山～時を超えた絆～」
- ・平成22年度 第8回公演
「横川堰～太平洋と日本海を結ぶ「命の水」物語～」③
- ・平成23年度 第9回公演
「未来予想図～結ばれていく「絆」物語～」



平成22年度は上市市でも公演が行われました